

寒川町の人口ビジョン（案）～抜粋～ （議会報告済・意見募集済資料）

1. 人口の将来展望

（1）人口に関する現状認識と人口シミュレーションについて

第3章で示した寒川町の将来人口推計結果によると、寒川町の人口は48,167人(2015年現在)から、2060年には36,282人となることが見込まれます。

こうした人口の変化により、経済規模の縮小や労働力の不足、税収減や社会インフラの過剰など、地域の持続可能性に大きな影響がありますので、対策を検討していくことが必要です。

将来人口推計は、過去の出生率や人口移動率が継続することを前提としていますので、これらの前提を改善させた場合、どのような人口水準となるのか人口シミュレーションを行いました。

（2）出生率についての考え方

出生率については、将来的に人口が維持されていく出生率（人口置換水準）である2.07まで上昇することを目標としてシミュレーションを行いました。具体的には、出生率を2020年に1.6、2030年に1.8、2040年に2.07まで改善させる前提を置いています。なお、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」においても、同様の目標が設定されています。

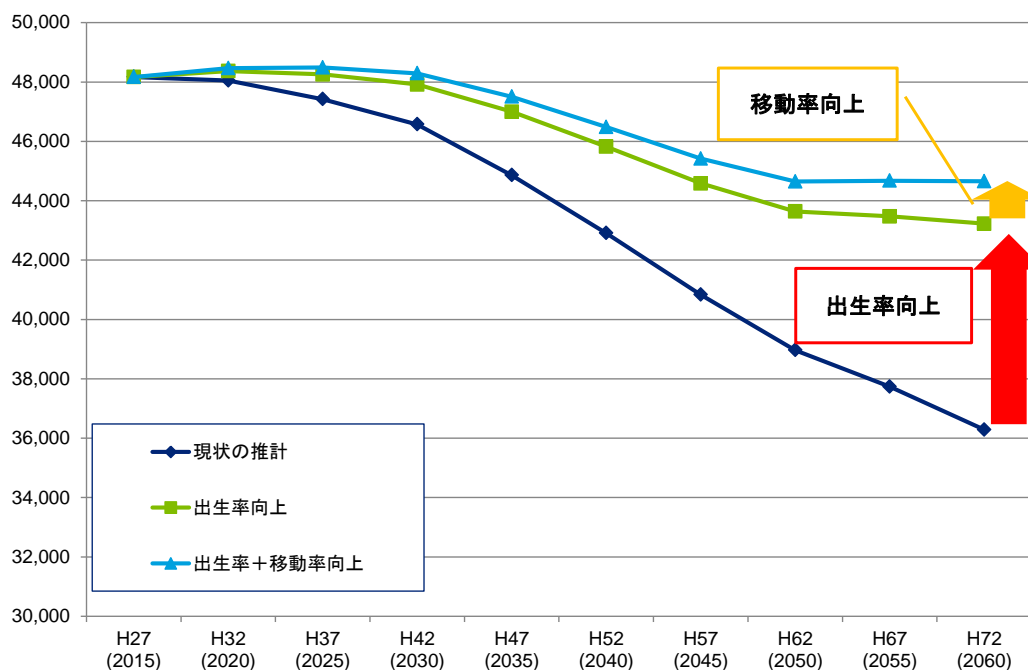
（3）人口移動率の考え方

人口移動率については、ファミリー世帯を中心とした若い世代の流入を目指し、39歳以下の世代の人口移動率を改善させることを前提にシミュレーションを行いました。改善率は、今後の転入促進、転出抑制の施策の効果により、5%と設定しました。

(4) 人口シミュレーション結果

上記の前提に基づき実施した人口シミュレーションの結果は、以下のとおりとなります。出生率や人口移動率の前提を見直さない場合には2060年には36,282人となる推計であった寒川町の人口は、改善後のシミュレーションでは、44,656人となります。

【図表5-1】人口シミュレーション結果



シミュレーション	H27 (2015)	H32 (2020)	H37 (2025)	H42 (2030)	H47 (2035)
現状の推計	48,167	48,048	47,418	46,571	44,860
出生率向上	48,167	48,367	48,256	47,919	46,998
出生率+移動率向上	48,167	48,465	48,488	48,291	47,506

シミュレーション	H52 (2040)	H57 (2045)	H62 (2050)	H67 (2055)	H72 (2060)
現状の推計	42,905	40,833	38,966	37,734	36,282
出生率向上	45,823	44,585	43,640	43,474	43,228
出生率+移動率向上	46,481	45,419	44,647	44,674	44,656

【高齢化率】

シミュレーション	H27 (2015)	H72 (2060)
現状の推計	24.2%	36.8%
出生率向上	24.2%	30.9%
出生率+移動率向上	24.2%	30.1%

(5) 将来人口展望

上記の人口シミュレーションにより示された改善後の人口である44,656人を本町の将来人口展望として定めます。この将来人口展望における高齢化率は30.1%となります。

2. 目指すべき将来の方向

(1) 雇用機会の確保と産業の創出

寒川町には町内で製造業を中心に安定した雇用が確保されている強みがあります。この強みをさらに活かし、町内での雇用の機会を確保し、安心して生活ができるまちづくりを推進する必要があります。

また、町内での新たな産業の創出も今後の課題となります。町民アンケートでも指摘されている買物等の商業施設の整備の一環として、町民による商業施設の開業を促進するような施策の推進が、地域の魅力を高めるための課題であるといえます。

地域経済を活性化する産業の創出や雇用の機会を確保するため、地域の力を集めて協力しながら細やかな支援を行い、誰もが安心して働き暮らせる地域をつくることを目指していきます。

(2) 若い世代の子育て環境の整備

寒川町の出生率は全国平均をやや下回っており、特に若い世代の出生率を向上させることが課題となります。町民アンケートでは、子どもの数が少ない要因として、子育てに伴う経済的な不安があげられており、この不安を解消させることが少子化の歯止めにつながる事を示唆しています。

また、若い世代にとっては、出産・子育ての前段階として結婚の促進がもう一つの課題となります。町民アンケートでは、結婚の意欲があるにもかかわらず、出会いが少ないことが結婚を阻んでいる要因として示されています。

このことから、結婚から子育てまでの切れ目のない支援を行うことを目指します。また、仕事と子育てを両立できるための地域社会をつくり、子育て世代にとっての経済的不安の解消を図ります。

(3) まちの魅力向上

寒川町は製造業を中心に産業が集積しているため、町外からも多くの通勤者が寒川町に流入しています。この通勤者を寒川町内に呼び込み、定住を促進することが課題となります。また、20代・30代の若い世代は仕事や進学を機に町外に転出する人が多く、町内での定住促進が課題となります。

この課題を解決するためにまちの魅力を高めていくことが必要となります。寒川町は交通の利便性や日常の買物のしやすさに課題があり、そのことを理由として町外へ転出している人も多く見られます。このような状況を打開し、快適で暮らしやすい生活環境の実現を図るため、交通環境の充実、各種商業施設の整備の促進を目指していきます。

さらに、地方からの湘南エリアを対象とした転入機会において、寒川町が居住地として認知されていない可能性があるため、寒川町を居住地として選ばれるよう、寒川町の魅力積極的に発信していきます。

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策体系(案)

基本目標
具体的な施策
1 地域全体で「さむかわ」の経済成長を支え、安定した「しごと」を育みます
(1)きめ細やかな支援による経済規模の拡大と産業集積の促進
(2)地域の魅力となる新たなビジネスの応援
(3)地域経済成長を支える人材の育成と確保
2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくれます
(1)アピールポイントの発見・創出と発信力の強化
3 子育て世代が安心して子どもを産み育てやすい環境をつくれます
(1)結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実
(2)学力の向上と家庭教育支援の充実
(3)子育てを応援する地域社会の実現
4 発展し続けるまち「さむかわ」みんなでつくれます
(1)さらなる安心した暮らしのための防犯対策の充実
(2)まちづくり活動への若い世代の参加・参画の促進
(3)より快適な生活の実現に向けた交通環境の整備